研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2024年6月10日 (第1版)

承認番号	24061
課題名	肝受容体シンチグラフィにおける CT 減弱補正及び分解能補正を用いた新たなクリアランス値の有用性の検証
研究期間	研究機関長の実施許可日 2024年7月19日 ~ 2028年4月1日
研究の対象	2019年4月~2024年3月31日に旭川医科大学病院に入院し、肝臓切除術を施行された患者さんのうち、術前検査として腹部 CT 検査及び肝臓核医学検査を受けられた方。
利用する試料・情報の種類	☒ 診療情報 (詳細：年齢、性別、薬剤投与量、病歴、検査結果、肝臓核医学検査及び腹部 CT 検査から得られた画像情報等)
利用予定日	開始日：実施許可日から1ヵ月後
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	肝臓核医学検査は、当院において肝臓切除術前に肝臓の機能を調べるために多く用いられています。この検査は患者さんに投与された核医学検査薬が肝臓に集まる様子を画像上で信号として捉えることで肝臓の機能を調べます。また、この画像を解析することで肝臓機能を表す解析値を取得しています。そこで本研究では、患者さんの核医学検査とは別の CT 検査で撮影した腹部 CT 画像を用いて核医学画像上の信号値を補正し、加えて、画像を作り込むときの画像のボケによる信号値への影響を補正することで最終的に算出される患者さんの肝臓機能の解析値にどのような影響を与えるかを検証します。肝臓切除術においては手術される患者さんの肝臓機能により切除される範囲が決定されるため、この手法の精度及び有用性を検証することで、手術の確実性や安全性の向上が見込めます。
研究の方法	肝臓機能を表す従来の算出値と別の腹部 CT 検査画像による補正及び画像のボケ補正を行った新たな算出値を比較し、その精度を評価します。
その他	当研究は、診療目的で当院に設置されている GE Healthcare 社製の SPECT/CT 装置及び CT 装置で撮像した画像を用いて行いますが、本研究の利害関係については旭川医科大学利益相反審査委員会の審査と了承を得ています。また、本研究の経過を定期的に旭川医科大学利益相反審査委員会へ報告等を行うことにより、研究者と企業との利害関係について適正にマネジメントし、公平性を保ちます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんの

で、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先：所属：旭川医科大学病院 診療技術部 放射線技術部門

氏名：内部 拓（研究責任者）

電話番号：0166-69-3461